

第7回働き方改革実現会議
高齢者の就業促進について

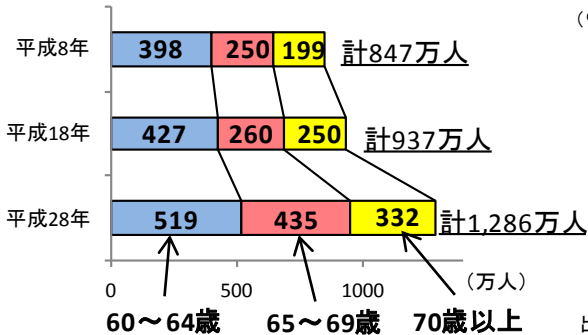
平成29年2月14日
塩崎厚生労働大臣 配付資料

高齢者の就業促進

高齢者就業の現状と課題

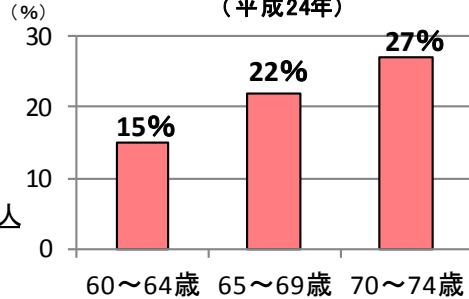
「働く高齢者」は増加。「働きたいが働いていない高齢者」は65歳以上で顕著

「働く高齢者」は増加



出典：総務省労働力調査

「働きたいが働いていない高齢者」の割合 (平成24年)

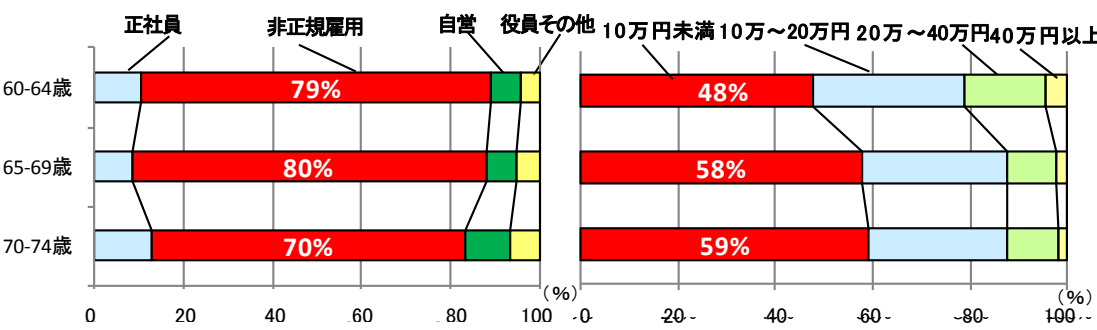


出典：総務省就業構造基本調査に基づき集計
※就業希望者が就業者と就業希望者の合計に占める割合

高齢者の希望する働き方は「非正規雇用」が7～8割。希望する月収は「10万円未満」が過半。

希望する働き方(平成27年)

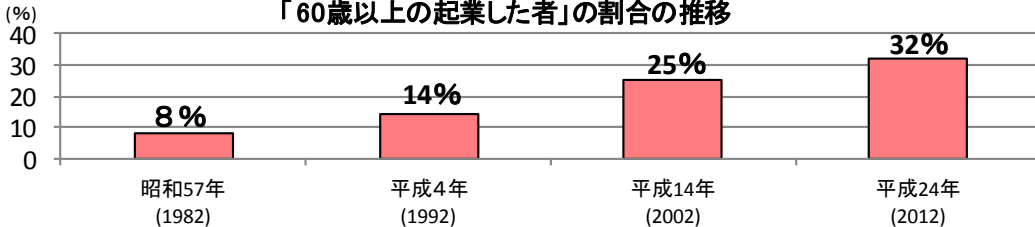
希望する月収(平成27年)



出典：中高年齢者の転職・再就職調査(平成28年、JILPT)のデータに基づき集計
※現在就業中で今後再就職する際に希望する労働条件

「起業した者」のうち「60歳以上」の割合は大幅に増大

「60歳以上の起業した者」の割合の推移



出典：2014年版中小企業白書より抜粋(総務省就業構造基本調査のデータに基づき集計)

今後の対応

「エイジレス社会実現プログラム」(仮称)の推進

「エイジレス」に働くためのキャリアチェンジの促進

【企業への期待】

○就職を希望する高齢者等の職務能力評価に基づく積極採用

【厚生労働省】

○企業の再就職受入れや就労マッチング支援の強化

— すべてのハローワークで「エイジレスサポート」を実施。専門窓口を増設。

80箇所→300箇所(2020年)

— 65歳以上が就業可能な、「短時間」を含む求人開拓を推進

○「『ふるさとリターン』マッチングネットワーク」(仮称)の創設

— 「私のふるさと」(Uターン)、「新しいふるさと」(Iターン)で過去の経験や能力を活かして働くための全国マッチングネットワークを構築 (ハローワークが金融機関、商工会議所、商工会、中小企業団体連合会等と新たなネットワークを構築)

○「エイジレス企業」へのキャリアチェンジ希望者に対する支援

— 年齢に関わりなく、「職務に基づく公正な評価」により働ける企業へのマッチング支援(求人票上も明確化)

— 人事システムの改善を通じた生産性向上への助成を創設

継続雇用等の促進

【企業への期待】

○65歳を超える継続雇用等に対する企業トップの理解促進

【厚生労働省】

○65歳を超える継続雇用等に取り組む企業への支援の強化

— 継続雇用、定年引上げ等を支援するための助成の強化

— 定年引上げや継続雇用の手法を紹介するマニュアルを新たに作成し、企業を訪問して相談・援助を実施

— 「高齢者就業」と「若者をはじめ企業全体の活力の増進」を両立させた好事例の収集、普及

「雇用」ではない多様な働き方の促進

【厚生労働省】

○「起業」による就業機会の創出支援

— 高齢者の起業に伴う雇用に対する助成の強化

— 地域の高齢者の雇用就業機会を創るネットワーク(生涯現役地域連携事業)による起業の取組を促進

ネットワーク数 15箇所→100箇所(2020年)

(例：農家レストラン、限界集落における交通弱者の送迎等)

○製薬企業専門家OB等と医療系ベンチャーのマッチングを支援

○地域に貢献したい者と人手不足感のある業界とのマッチング支援を強化(シルバー人材センターの活用)